## ① 以下の文章を読みながら「か・き・く・け・こ」に ○ (まる) をつけてください。

きんねん、しんこうげいじゅつのなにおいていくたのぶんげいうんどうがこころみられてきたが、いたずらにひそうのしんきをおうほかになすところをしらなかった。じゅうらいいくたのかくのごときしん(?) ぶんがくうんどうのかんぜんなしっぱいは、「あたらしさ」をあやまらしめ、どうじにぶんがくをよぎらしめた。

わたしのかんがえによれば、げいじゅつははんぱつせいしんのあらわれであり、じだいそうぞうてきなはげしいいしによってなさるべきものであるとおもわれるにかかわらず、さいきんにほんぶんがくのあたらしいけいこうは、ろうじんのしゅみにいっちすることをもっともじゅんすいとみなし、もっともむきりょくな、じいてきなにんげんたんきゅうによぎったこうふんをかんじている。ふどうのものえいえんのものはすでにほろびている。われわれはへんかのなかに、はってんのいちかていのなかに、はんぱつからそうぞうへむかうにんげんをたんきゅうしつくりつづけてゆかなければならない。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

か	き	<	け	こ

③ 何について書かれた文章でしたか?口頭で教えてください。

折り線

【文章】仮名拾い(かなひろい)課題プリント その9 - か行編

答え ② か:15 き:11 く:8 け:3 こ:7

③ 文学について書かれた文章。など

文章の出典:

新らしき文学 - 坂口 安吾著 を平仮名に加工して作成